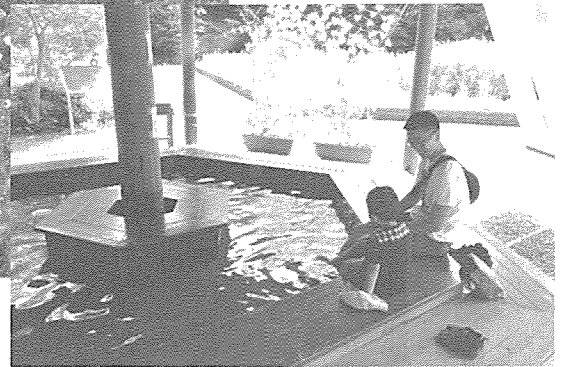


公民館かながわ



くりはま花の国（横須賀市）



目次

平成31年度 生涯学習指導者研修 「公民館担当者コース」 事業報告	2・3
令和元年度 館長・公民館運営審議会 委員等研修会	4
第61回神奈川県公民館大会	5
わが館では 大井町生涯学習センター 大和市生涯学習センター	6
サークル紹介 『みんなでハーモニー』 （山北町立生涯学習センター） 『秦野市民吹奏楽団』 （秦野市立大根公民館）	7
第41回全国公民館研究集会 第59回関東甲信越静岡公民館 研究大会栃木大会	8
表紙写真解説 『くりはま花の国』	8
編集後記	8

平成31年度
生涯学習指導者研修
「公民館担当者コース」
事業報告

平成31年度生涯学習指導者研修「公民館担当者コース」が、5月22日から10月16日までの間、計5回にわたり、「生涯学習・社会教育の地域拠点としての公民館のあり方と職員の能力の向上」をテーマに開催されました。

この研修は、県教育委員会と県公連との共催事業です。

今年度も、昨年度に引き続き、各教育事務所の社会教育主事によるアイスブレイキングの講義と参加者交流を行いました。実際に活動を体験することで、アイスブレイキングの手法を学ぶとともに、参加者同士が打ち解けて、その後の事例発表や情報交換が、和やかな雰囲気の中で、より活発なものになりました。

延べ158人の参加があり、どの回も、意欲的に話し合いに臨み、積極的にワークショップに励んでいる姿が見られました。

《第1回》 5月22日(水)
会場 かながわ県民センター
○講義と意見交換「これからの生涯学習・社会教育関係職員の果たすべき役割」
全国社会教育委員連合

常務理事 馬場 祐次朗 氏
○情報提供「第四次神奈川県子ども読書活動推進計画について」
県教育委員会生涯学習課
鈴木 智久 氏

○講義とワークショップ「事業計画の立て方と職員としての心の在り方について」
こころボ代表 宇野 努 氏

《第2回A》 6月12日(水)
会場 川崎市中原市民館

○「即、学級・講座に使えるアイスブレイキング」
湘南三浦教育事務所 都 浩一 氏

○事例発表①「中原市民館の取組と施設の概要」
川崎市中原市民館長 吉越 厚善 氏

○事例発表②「伊勢原市立公民館の取り組み」
前伊勢原市教育委員会 教育委員会 山崎 雅翔 氏

○情報交換「事例発表を踏まえた公民館事業のふりかえり」
《第2回B》 6月27日(木)
会場 平塚市立須賀公民館

○「即、学級・講座に使えるアイスブレイキング」
県央教育事務所 松山 愛 氏

○「即、学級・講座に使えるアイスブレイキング」
中教育事務所

○事例発表①「須賀公民館の活動」
平塚市立須賀公民館 千葉 貴英 氏

○事例発表②「南毛利公民館の活動」
厚木市立南毛利公民館 梅澤 規子 氏

○情報交換「事例発表を踏まえた公民館事業のふりかえり」
《第3回》 9月5日(木)
会場 かながわ県民センター

○情報提供「神奈川県公民館連絡協議会について」
県公民館連絡協議会事務局 鈴木 智久 氏

○講義とグループ協議「多文化共生社会における公民館のあり方」
方々地域にコミュニケーションを築くには」
神奈川大学 人間科学部・法学部 荻村 哲朗 氏

○講義とワーク「公民館の事業評価について」
国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 専門調査員 岡田 直人 氏

○情報提供「PLANNETかながわの紹介と活用」について
県立図書館 広報・生涯学習推進課 佐藤 孝樹 氏

○事例紹介(ワークショップ)
「国立市公民館『コーヒーハウス』の取り組み」
東京都国立市公民館 針山 和佳奈 氏

○講義とワークショップ「おいしいチラシの作りかた」
東京都足立区 シティプロモーション課 舟橋 左斗子 氏

《第4回》 10月16日(水)
会場 かながわ県民センター

○情報提供「PLANNETかながわの紹介と活用」について
県立図書館 広報・生涯学習推進課 佐藤 孝樹 氏

○事例発表①「須賀公民館の活動」
平塚市立須賀公民館 千葉 貴英 氏

○事例発表②「南毛利公民館の活動」
厚木市立南毛利公民館 梅澤 規子 氏

○情報交換「事例発表を踏まえた公民館事業のふりかえり」
《第3回》 9月5日(木)
会場 かながわ県民センター

○情報提供「神奈川県公民館連絡協議会について」
県公民館連絡協議会事務局 鈴木 智久 氏



〈研修後のアンケートより〉

○講義と意見交換「これからの生涯学習・社会教育関係職員の果たすべき役割」

「基本のお話から、これからの役割まで分かりやすく、体系的に学ぶことができました。」
「今一度、社会教育の担う大きな役割について、学び直す良い機会になった。」
「ビ

デオ等により、先進的な事例が紹介され、今後の業務の参考としたと思った。「研修の内容を実践できるようにしたいと思った。」

○情報提供「第四次神奈川県子ども読書活動推進計画について」

「子どもの読書時間が少ないことにびっくりした。自分から読書を楽しもうと思った。」「現状の把握から対策へのプロセスがわかった。」「読書関連の事業計画を立てるのに参考になった。」

○講義とワークショップ「事業計画の立て方と職員としての心の在り方について」

「心の在り方をどうすれば良いかがよく理解できた。」「新しい事業を計画するとき、アウトプットの場を用意することが理解できた。」

「今まで、マニュアル通り事業ができればと考えていたが、違った考えをもって計画に取り組みもうと思った。」

○「即、学級・講座に使えるアイズブレーキング」

「年齢層を問わず利用でき、体も動かすので、実際に使ってみたいと感じた。」「初めて出会ったときに、話の投げかけに必要だと思った。」「実際に自分たちで行いながらだったので、効果を実感できた。」

○事例発表

「すばらしい施設で、生涯学習の拠点として存在していることが理

解できた。」「地元根差した事業というのを立案からの工程を知れて良かった。」

○情報交換「事例発表を踏まえた公民館事業のふりかえり」

「他市の苦勞されている点を聞けたり、抱えている課題が共通だったりして、有意義な情報交換になった。」「事業を企画するにあたってのヒントをたくさん得ることができた。」「事業を企画するのに、どのようなことが大事なのかを話し合えた。」

○情報提供「神奈川県公民館連絡協議会について」

「県公連ではどのようなことが行われているのかということを知ることができました。普段は公民館の施設を担当する班にいるため、ソフト面での動きや現状を知るのとはとても参考になります。」「公民館の前提となっている部分を学び直すことができて良かった。」

○講義とグループ協議

「多文化共生社会における公民館のあり方」地域にコミュニケーションを築くには」

「災害時に向けて心構えができました。災害時にどのように対応すべきか改めて考えていこうと思います。また、公民館の業務の中で、今回の講義のような外国の方とのコミュニケーションについても今後意識しながら業務に取り組みしていきたいと思えます。」「震災とい

う出来事によって、外国人市民への無知やコミュニケーション不足が表面化するというところから、多文化共生について考えるのが興味深く勉強になった。」

○講義とワーク「公民館の事業評価について」

「事業のPDCAサイクルについては知っていたが、今回の講義で目標と評価が深く関係しているとわかった。振り返り（目標設定）は大切だと思った。」「事業評価はとも興味深く今後の事業を行っていく上で、重要なことだと思いました。目的と評価を一体に考えてどのように評価していくのかということを検討していきたいと思えます。」

○情報提供「PLANETかながわの紹介と活用」について

「初めてPLANETを知ることができました。今後の講師選びなどに使用させていただきたいです。」「名前を聞いたことはあったが、実際に話を聞いたのは初めてだったので、簡単に操作できて特に決まっていないう状態でも検索できるのがすごいと思った。」

○事例紹介（ワークショップ）国立市公民館「コーヒーハウス」の取り組み

「素晴らしい事例を聞くことができ、励みになった。その後のグループワークも有意義な話し合いができた。」「障がい者にフォーカス

した内容は印象深く、地区の実情に合った内容に置きかえらる参考になる内容だった。」「ボランティア（支援スタッフ）の重要性を再認識した。」



○講義とワークショップ「おいしいうちの作りかた」

「チラシの見せ方については以前から改善したいと考えていたので、とても参考になりました。学んだ内容を念頭に置いて、今後はチラシを作成していきたいと思えます。」「パッと目を引く（みたくなる）チラシの作り方がわかった。ビフォーアフターを比べて、文量やキャッチ、画像を工夫すると同じ内容でも全く違うものになるとわかりおもしろかった。」

（県公連経営・研修部会）

令和元年度 館長・公民館運営審議会委員等研修会

「これからの時代に求められる公民館像とは？」
 ↳公民館をネットワークの基点とした新しい
 「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の展開

令和元年度館長・公民館運営審議会委員等研修会が、11月8日(金)に、ハーモニーホール座間小ホールで開催されました。

前半の講演会では、地域社会のつながりや支えあい希薄になり、「地域は子どもを育てる学校」「地域で子どもを育てる」という考え方が失われつつある中で、学校・地域・家庭の連携と協働について講演をお願いしました。

後半の人権講話では、日本に暮らす「外国人」の多様化・多様性を理解し、その子どもたちの抱える問題に取り組み、居場所としての機能を発揮しているNPO法人・信愛塾の活動について学びました。参加者は145名でした。

【講演】

「地域と学校との連携・協働における公民館の役割」

公民館をネットワークの基点とした新しい「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の展開

昭和女子大学 グローバルビジネス学部 特任教授 興柁 寛氏

現在、都市化や過疎化の進行、家族形態の変容、価値観やライフ

スタイルの多様化等を背景に、地域の人びとの子どもの教育への当事者意識が薄れ、学校に過度な期待・責任が課されています。一方、子どもの育つ地域環境づくりや多様な経験を生かした学校教育への支援活動や子どもの育ちと地域づくりを結び付けた「子育てコミュニティ」づくりに取り組むボランティア、NPOの活動に期待が寄せられています。

学校教育を学校内に閉じるのではなく、社会と共有・連携しながらすすめる「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域との連携・協働を一層すすめていくことが求められ、地域・家庭・学校を結ぶ協働活動のコーディネート

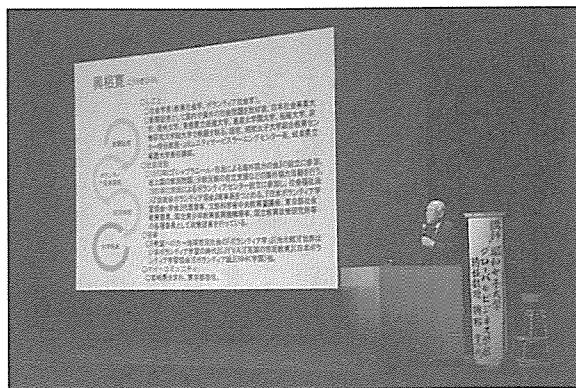
の拠点として、もともと期待されるのが公民館の役割と言えます。公民館は、地域の「共生縁」を結び、「であう・まなぶ・つなぐ・つくる」ための行動拠点として役割を果たしてきました。新たな役割としてコミュニティを学びのキ

ャンパスとし、地域ボランティアやNPOなどの行動的市民の活動拠点となることが期待されています。とくに人的資源と社会課題を

結ぶ「マッチング機能」などボランティア・コーディネート機能の充実や配置が重要な課題となっています。

興柁先生からは、千葉県木更津市の実例があげられ、様々なポイントが紹介されました。質疑応答では、大勢の挙手があり、学校現場関係者からも意見が出されるなど、予定の時間を超過しても、熱心に学習する姿が見られました。

興柁先生による講演の様子



興柁先生による講演の様子

【人権講話】

「外国にルーツを持つ人々と共に生きる地域社会の実現に向けて」

NPO法人 在日外国人教育生活相談センター・信愛塾

センター長 竹川 真理子 氏
 1978年に横浜市中央区中華街

に信愛塾が誕生し、長きにわたり外国籍をもつ子どもたちのために活動してきた内容が、センター長・竹川氏とスタッフ・福島氏から紹介されました。

地域に暮らす「外国人」の多様化・多様性からは、国籍だけでは見えてこない問題があり、現場から見えてくる「子どもたちの抱える問題」には、貧困の連鎖・DV・ネグレクトなどから子どもたちの命を守るなど、数々の課題があります。

信愛塾は、2つの大きな機能を発揮しています。

1つ目はセーフティネットとしての機能です。伴走型相談(多言語対応)の重要性を確認し、弁護士・民生委員・児童相談所・学校・区役所・公民館・地域・自治会・町内会などと連携し、問題解決のためのネットワークを作ります。

2つ目は、外国籍住民が困った時にいつでも飛び込んでこられる「相談の場」。子どもにとつて唯一心を開くことのできる「居場所」。交流や学びを通して自立につながる「学びの場」など、共生社会の実現に向けての「居場所」としての機能です。

信愛塾の活動に対し、利用者たちは、日本人の優しさ・素晴らしさに心から感謝しています。大変参考になった事例紹介でした。

(公民館経営・研修部会)

第61回神奈川県公民館大会

テーマ

「これからの時代に求められる公民館像とは？」

「公民館を基点とした「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の展開」

◇日時

令和2年1月17日(金)

13時00分～16時30分

◇会場

愛川町文化会館ホール

「新しい時代の『人づくり』『つながりづくり』『地域づくり』として、子どもたちを中心とした地域社会との協働活動に公民館が、どう関わることができるのかについて考察する。」という趣旨のもと盛大に開催されました。

◇アトラクション

大会参加者を歓迎するため、神奈川県立愛川高等学校和太鼓部による迫力ある演奏と愛川ハーモニカアンサンブルによる心に響く素敵な演奏が行われました。



県立愛川高等学校和太鼓部による演奏

◇大会式典・表彰式

木下 敬之会長の主催者あいさつ、愛川町教育委員会 佐藤 照明教育長による開催地あいさつその後、各種表彰が行われ、その後、愛川町 小野澤 豊町長と神奈川県教育委員会教育局長 田熊 徹生涯学習部長から御祝辞をいただきました。

また、公民館の歌では、「やくばーず」による素敵な独唱と、ピアノ演奏に続き、参加者全員で声を合わせて、「公民館の歌」を歌いました。

○神奈川県公民館連絡協議会表彰

【優良公民館表彰】

川崎市幸市民館日吉分館

相模原市立大沼公民館

相模原市立上鶴間公民館

平塚市立松原公民館

厚木市立緑ヶ丘公民館

厚木市立小鮎公民館

大和市生涯学習センター

【職員等功績表彰】

青木 美和子(藤沢市立湘南大庭公民館)

【永年勤続表彰】

関野 加奈(川崎市教育委員会事務局生涯学習推進課)

安藤 光津重(相模原市立相原公民館)

山本 静昭(同市立小山公民館)

大澤 明美(同市立清新公民館)

島崎 京子(同市立東林公民館)

山下 いずみ(同市立城山公民館)

清水 礼子(同市立津久井中央公民館)

倉田 冠子(同市立藤野中央公民館)

大柴 裕二(横須賀市生涯学習財団)

藤田 比呂美(藤沢市立鶴沼公民館)

磯和 真由美(藤沢市立遠藤公民館)

新井 幸子(藤沢市立遠藤公民館)

有賀 真弓(藤沢市立長後公民館)

青木 美和子(藤沢市立湘南大庭公民館)

高井 佳子(藤沢市立湘南台公民館)

阿部 優子(茅ヶ崎市立鶴嶺公民館)

小嶋 まゆみ(座間市立座間市公民館)

小嶋 聡(元綾瀬市教育委員会生涯学習課)

◇基調講演

「これからの時代に 公民館に期待されるもの」

国立大学法人宮城教育大学

学長特別補佐 特任教授

野澤 令照 氏

基調講演では、激変する社会の情勢をふまえた、これからの公民館の役割について、わかりやすくご講演いただきました。

◇事例発表

「協働で生まれ変わる地域と学校」

ともに学び、ともに育つ

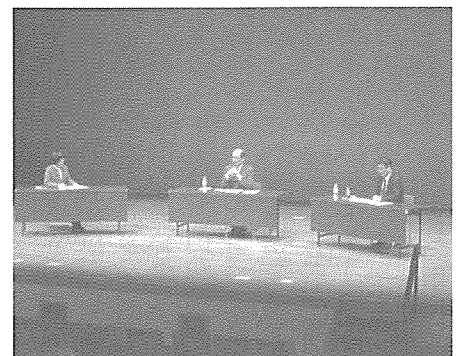
厚木市立森の里公民館

館長 青木 信二 氏

今ある公民館事業で得た成果を、「ちよっとした工夫」で、学校教育にも活かしていった実践事例を発表していただきました。

◇鼎談

基調講演をしていただいた野澤 令照教授と事例発表をしていただいた青木 信二館長、愛川町教育委員会生涯学習課 谷島 花社会教育主事の3氏により、学校と地域との協働における公民館の関わり方について、鼎談が行われました。



3氏による鼎談

◇会旗引継

大会の最後に、愛川町教育委員会 佐藤 照明教育長から木下会長へ、木下会長から次期開催地の箱根町教育委員会 小林 恭一教育長へ会旗が引き継がれました。なお、第62回神奈川県公民館大会は、令和3年1月29日(金)に箱根町主催にて開催されます。



会旗引継ぎ

(県公連事務局)

わが館では・・・

大井町生涯学習センター

わが館は、昭和62年に大井町立中央公民館として開館し、平成24年に多様化するニーズに応じて、幅広い用途で利用できるように名称を大井町生涯学習センターに変更しました。JR御殿場線の上大井駅、相模金子駅からそれぞれ徒歩15分ほどの場所にあり、大井町役場に隣接しています。

館内は、図書館機能を備えているほか、町の自然や歴史、文化財などを紹介する資料展示室があり、国指定重要文化財の「土偶形容器」のレプリカなども展示しており、様々な魅力があります。437席を有するホールでは、ピアノやカラオケ、コーラスなどの発表の場として、町内だけではなく、近隣市町からも数多く利用していただいています。

また、大井町文化団体連絡協議会に加入する団体を中心に、サークル活動の拠点となっており、身近な地域の学習の場として、長年親しまれています。

文化団体連絡協議会の活動では、毎年6月に「芸能まつり」を開催し、日舞やフラダンス、楽器演奏などが披露されます。他町の文化団体も出演し、交流の場にもなっています。3月から4月には

「春の作品展示会」を開催し、絵画や書道、生け花などの美しい作品が並びます。

さらに、町と文化団体連絡協議会の共催で、毎年10月に、日頃の文化活動の成果を発表する場として、「大井町文化祭」を2日間に行ったり開催しています。芸能発表、作品展示、イベントの3部門があり、令和元年度は80以上の団体が出演・出展し、延べ2千600人を超える来場者がありました。幅広いジャンルの演目とバラエティに富んだ作品に、囲碁や喫茶コーナーもあり、とても賑わいます。

このように町の文化活動が盛んなことは、とても喜ばしいものです。今後様々な学習活動や文化芸術活動、また、心のふれあいの場として、多くの皆さんに利用していただきながら、町の文化の発展と生涯学習の推進に努めていきたいと考えています。



喫茶コーナーの様子

(館長 大森 勉)

大和市生涯学習センター

わが館、大和市生涯学習センターが大和市文化創造拠点シリウスに移転開館してから3年がたちました。学習センター、図書館、芸術文化ホール、屋内こども広場を有するこの複合施設は、年間利用者が30万人を数え、親子連れ、学生、シニアと、毎日幅広い世代の方にご利用いただいています。

シリウスでは、複合施設のメリットを活かすため、各施設の枠を超えた様々な融合事業を展開しています。

【ホール公演との融合】

日越外交関係樹立45周年記念事業のひとつとして、ベトナムのサーカス「A O S H O W (アー・オー・ショー)」の公演が行われました。学習センターではこの公演にあわせ、大和市国際化協会の協力のもと、

市内在住のベトナム出身の方を講師に招き、ベトナム料理の調理の実習を行いました。講座には公演のプロデ



調理実習の様子

ューサーがゲストとして参加し、ベトナムの文化について受講者や講師と語り合う場面もありました。

【図書館との融合】

大和市立図書館では、市民の自史寄贈の取り組みを行ってまいります。学習センターでは、自分を理解し、家族や友人とのコミュニケーションのきっかけにもなるという自分のメリットを知ってほしいと、「人生100年時代を自分らしく生きるための自分史入門講座」を開催しました。

また、学習センターの講座開催時に関連図書を配架しています。講座で学んだことをより深めることで、さらに関心が広まり、受講者の継続的な学習につながります。

【市内各学習センターとの融合】

市内には生涯学習センターを含め、5館の学習センターがあります。今年度は「防災」をテーマに、各館がそれぞれの切り口で講座を開催しました。シリウス内の図書館や屋内こども広場でも同時期に防災をテーマにしたイベントが行われ、学習センターだけにとどまらない、連携の輪とすることができました。

今後も市民の期待にこたえられるよう、知恵を出し合い、協力しながら取り組んでいきたいと思っています。

(副館長 中村 康恵)

サークル紹介

「みんなでハーモニー」

山北町立生涯学習センター

『みんなでハーモニー』は、2006年に、西丹沢の山開きで、『丹沢讃歌を歌う会』として結成された混声合唱団です。

表丹沢である秦野市の秦野丹沢まつりで「丹沢讃歌」を聴き、「西丹沢でも歌っていいのでは」と同志を募ったところ、60人ほどが集まって結成されました。以来、毎年西丹沢山開きで「丹沢讃歌」を歌ってきました。また、日常の練習は、生涯学習センターを利用して、生生涯習センターを利用しているため、名称を「みんなでハーモニー」に変更し、センターで開催されるさまざまなイベントに参加して、歌声を披露してきました。

おかげで年々パトリオも増えてきたので、それらをすべてを一度に披露しようかと、昨年13年目にして、初めて



初めての単独コンサートでは、ミュージカル風にアレンジ

て単独でのコンサートを企画し、11月17日に盛大に開催することができました。当日は、事前に神奈川新聞が大きく記事として取り上げてくださったこともあり、大勢の方々からコンサートを聴きにきてくださいました。もちろん会員一同大喜びで、今後の活動の励みになったことは言うまでもありません。

現在は、新メンバーの加入がほとんどないため、年々とも人数が減って、28人ほどの活動となつていますが、一緒に長く活動してきた分、会員同士の絆も深まり、いつも和気あいあいと楽しく活動しています。

一人でも多く仲間が増えることを期待しながら、これからも笑顔で、いつまでも元気に歌い続けていきたいと思つています。さあ、私たちが一緒に丹沢の丹沢讃歌を歌ってみませんか。新メンバー、大歓迎です。

(代表 山崎 美恵子)



生涯学習センターフェスティバルでは、毎年歌声を披露

「秦野市民吹奏楽団」

秦野市立大根公民館

秦野市民吹奏楽団は、前身の団体を継いで、1985年に現団体名となりました。吹奏楽団という名前のおり「吹」いて「奏」でる楽器を中心とした楽団です。フルート、クラリネット、サクソフーンなどの木管楽器、トランペット、ホルン、トロンボーンなどの金管楽器、それにドラムなどの打楽器で編成されています。

団員は約30名で年齢は10代から70代まで幅広く、練習は秦野市内の公民館などで、毎週木曜日の午後6時半から9時半まで行っています。平日が練習日のため、仕事が終わって駆けつける人もいますが、行事がない限り、土日には自分の予定が入りません。

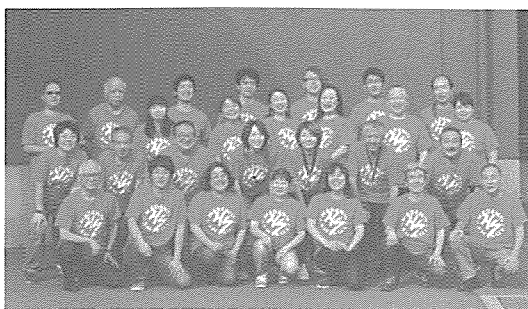


「おおね音楽祭」での演奏

入れられます。練習では毎回、次の出演のための曲をいくつか合奏します。準備をし、演奏をして、後片付けまですると意外に体を動かしますし、楽器を鳴らすためにたくさん呼吸をするので、健康にはいいようです。何より、好きな音楽を仲間と楽しむことは、とてもいい気分転換になります。

行事は、年に1回クアーズテック秦野カルチャーホール（秦野市文化会館）で9月か10月に行う定期演奏会がメインで、2020年には第25回を迎えます。大根公民館で開催される「おおね音楽祭」でもフィナーレを飾るなど、地域のお祭りや演奏依頼にも積極的に参加しています。

団員の演奏はさまざまですが、お互いに助け合いながら、楽しく活動を続けています。



メンバーの集合写真

(代表 竹内 光輝)

第41回全国公民館研究集会・第59回関東甲信越静公民館研究会・第59回関東甲信越静公民館研究大会栃木大会

第41回全国公民館研究集会・第59回関東甲信越静公民館研究大会栃木大会が、令和元年8月22日(木)・23日(金)に、宇都宮市文化会館等において開催されました。

今大会のテーマを『公民館から発信する地域づくり』と地域課題解決を通して地域コミュニティの活性化を目指してと、住民の学びの成果を、地域づくりの実践に結びつけるための公民館の役割やその方策について考える機会となりました。

第1日目の全体会では、開会行事のオープニングアトラクションとして、公民館で行われたアイドル養成講座の修了生であり、現在は、ご当地アイドルとして活躍されている「VIVID★RING」と「Lovin&S」による歌が披露されました。

また、基調講演では、「地域課題解決学習から地域創生へ」というテーマのもと、学校法人文教大学学園理事長 野島正也氏により、地域の人々に役立つ公民館についてご講演いただきました。続いて、地域コミュニティの形成を目指した公民館活動「ひとが変わりまちが変わる『学びのカフ

エ物語』について、広島県大竹市 玖波(つくば)公民館主事 河内ひとみ氏による事例発表が行われました。

その後、基調講演や事例発表をふまえた野島氏と河内氏によるトークセッションが行われました。



トークセッションの様子

第2日目は、9つのテーマにわかれ、分科会が行われました。

第1分科会(高齢者・シニア)では、藤沢市立湘南大庭公民館運営推進員 青木 美和子氏により、「高齢者が自由に参加できる高齢者への施設開放『なごみサロン』の歩み」参加者ゼロから自主的活動に向けて」について、事例発表が行われ、高齢者・シニアが参画する地域課題解決を通じた地域づくりについて考える機会となりました。

来年度の関プロは、令和2年11月19日(木)・20日(金)に、千葉県船橋市民文化ホール等において開催されます。

表紙写真解説

『くりはま花の国』

(横須賀市)

くりはま花の国は、緑豊かな自然とのふれあいを満喫できる花をテーマにした公園です。

春はポピー、秋はコスモスが咲き乱れ、シーズンになると市内外から多くの人が訪れます。

園内のハーブ園では、5月〜7月に見ごろを迎えるラベンダーをはじめ、すがすがしい香りを胸いっぱい吸い込んで、ハーブの魅力を満喫できます。散策に疲れたら、ハーブを眺めながら入れる足湯「湯足里(ゆつたり)」(無料)があります。

足湯のお湯には季節に合わせてハーブがブレンドされています。

ゴジラの滑り台のある冒険ランドや、ハーブ園の遊具広場等、子供の遊び場もいっぱいあります。

「くりはま花の国ポピーまつり」
4月4日(土)〜5月31日(日)に、いろいろな種類のポピーが一面に広がります。

5月30日(土)・31日(日)には、ポピー無料花摘み大会を開催します。

令和2年度総会

(公民館館長・職員等研修会)

○日時

令和2年5月22日(金)
午後1時から

○会場

茅ヶ崎公園体験学習センター
うみかぜテラス
茅ヶ崎市中海岸3丁目3番9号

○交通

・徒歩の場合 JR 茅ヶ崎駅南口より 高砂通りへ(10〜15分程度)
・バスの場合 JR 茅ヶ崎駅南口バス停より コミュニティバス えぼし号
「中海岸南湖循環市立病院線 (サザンビーチ方面)」に 乗車
「4 恵泉幼稚園前」で下車 徒歩 2 分

編集後記

「公民館かながわ」では、毎号県内の施設等に御協力をいただき、記事をお寄せいただいております。施設の紹介やサークル活動等、「公民館かながわ」をお読みいただいている皆様にお知らせする話題等がございましたら、是非、総務・広報部会まで情報をお寄せ願います。

【総務・広報部会】

- 宮館 政幸(川崎市)、森 徹(藤沢市)
- 杉山 由広(厚木市)、塩田 麻美(伊勢原市)
- 青柳 典子(綾瀬市)
- 榎田 和哉(中教育事務所)
- 鈴木 智久(事務局)